

1 女性

1. 目的

滋賀県が実施した男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査によると、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」といった男女の役割を固定的に捉える意識が依然として残っています。そのことが、男性・女性のそれぞれが主体的に生きるための多様な選択や能力発揮の妨げになっていることがあります。

ここでは固定的な性別役割分担意識[※]について考え、語り合いを通して男女が共に生き生きと活躍できる地域づくりにつなげましょう。

※「固定的な性別役割分担意識」とは、男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性・女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。

2. 進め方（ワークシート活用例）

ワーク

進め方とファシリテーターの視点

I

- 1 イラストを見て、参加者の率直な意見を聞いてみましょう。
- 2 資料①、②を参考にして、男女の家庭や地域の様子について考えてみましょう。

《視点1》 家庭においては、男女の家事・育児等の時間の違い（資料①）に注目します。共働きでもそうでなくても、家事・育児などの多くを女性が担っている状況から、「家事や育児は女性がするもの」という考えが根底にないか話し合います。

《視点2》 滋賀県では、自治会の女性の代表者は15%程度です。（資料②）このことから、「代表は男性がするもの」という考えがないかを考えます。

II

- 1 家庭や地域で「男だから」「女だから」という理由で決まっていることはないか、出し合ひましょう。
- 2 資料③を参考にしてその理由について考えてみましょう。

《視点3》 滋賀県では、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方に同感する割合が18.8%あります。家庭や地域で、固定的な性別役割分担意識にとらわれている様々な事例を出し合ひ、その理由について考えます。

III

- 男女が互いに協力し、それぞれの個性や能力を発揮するためには、どのようなことが大切かを話し合ひましょう。

《視点4》 家庭や地域でできることについては、「語り合ひましょう！」を参考に話し合ひます。

《視点5》 地域で防災マップや避難所運営などのマニュアルがある場合は事前に用意し、女性の視点がいかにされているか確認してもよいでしょう。

3. より深く学ぶために（滋賀県女性活躍推進課 資料）

「男女共同参画啓発シート」

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/danjyosankaku/11599.html>

「男女共同参画視点からの避難所運営手引」

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/zyokatsu/346223.html>

滋賀県で避難所運営を、男女共同参画の視点から推進するために作成しました。

